

DELIVERY SYSTEM FOR ELECTRONIC MAIL

Patent Number: JP6232976
Publication date: 1994-08-19
Inventor(s): IIZUKA YOSHIYUKI
Applicant(s): OKI ELECTRIC IND CO LTD
Requested Patent: ☐ JP6232976
Application Number: JP19930015509 19930202
Priority Number(s):
IPC Classification: H04M3/42; H04L12/54; H04L12/58; H04N1/00; H04Q3/58
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To provide a delivery system for an electronic mail capable of taking out a reception message even after delivery of the electronic mail by providing a means which preserves it in a mail box after the reception message has been delivered at an extension terminal.

CONSTITUTION: The reception message from a line wire facsimile terminal 10 is stored by accumulating in the mail box of an electronic mail system 60 classified by every address of the message. After that, corresponding messages are delivered to the extension terminals 20, 30 in accordance with the addresses of the messages. When corresponding extension terminals 20, 30 are busy, the reception message can be retried afterward. Also, the reception message in the mail box can be taken out from another extension terminal. The reception messages are preserved in the mail box even after they are delivered to the extension terminals 20, 30. Therefore, the message can be taken out any number of times by making access a corresponding mail box in the system 60 from the extension terminals 20, 30.

Data supplied from the esp@cenet database - I2



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **06232976 A**(43) Date of publication of application: **19 . 08 . 94**

(51) Int. Cl. **H04M 3/42**
H04L 12/54
H04L 12/58
H04N 1/00
H04Q 3/58

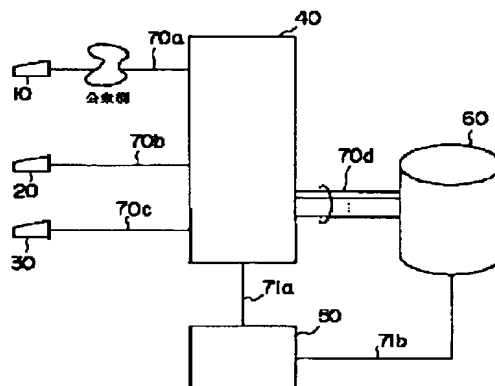
(21) Application number: **05015509**(71) Applicant: **OKI ELECTRIC IND CO LTD**(22) Date of filing: **02 . 02 . 93**(72) Inventor: **IIZUKA YOSHIYUKI**(54) **DELIVERY SYSTEM FOR ELECTRONIC MAIL**

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide a delivery system for an electronic mail capable of taking out a reception message even after delivery of the electronic mail by providing a means which preserves it in a mail box after the reception message has been delivered at an extension terminal.

CONSTITUTION: The reception message from a line wire facsimile terminal 10 is stored by accumulating in the mail box of an electronic mail system 60 classified by every address of the message. After that, corresponding messages are delivered to the extension terminals 20, 30 in accordance with the addresses of the messages. When corresponding extension terminals 20, 30 are busy, the reception message can be retried afterward. Also, the reception message in the mail box can be taken out from another extension terminal. The reception messages are preserved in the mail box even after they are delivered to the extension terminals 20, 30. Therefore, the message can be taken out any number of times by making access a corresponding mail box in the system 60 from the extension terminals 20, 30.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-232976

(43)公開日 平成6年(1994)8月19日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 3/42	J			
H 0 4 L 12/54				
12/58				
H 0 4 N 1/00	1 0 4 A	7046-5C		
		8732-5K	H 0 4 L 11/ 20	1 0 1 B
審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁) 最終頁に続く				

(21)出願番号 特願平5-15509

(22)出願日 平成5年(1993)2月2日

(71)出願人 000000295

沖電気工業株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

(72)発明者 飯塚 由行

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気
工業株式会社内

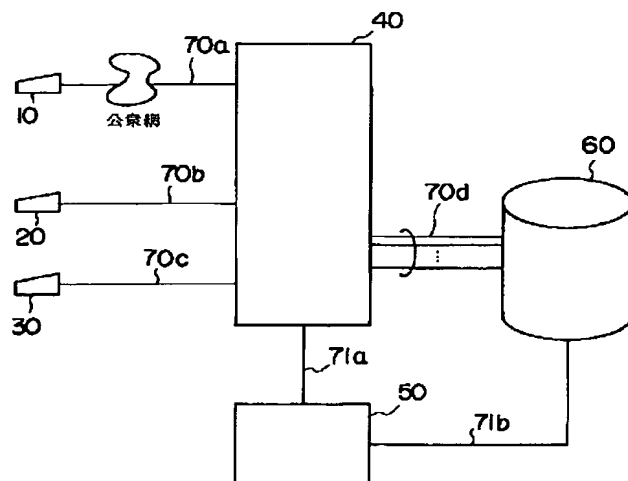
(74)代理人 弁理士 鈴木 敏明

(54)【発明の名称】 電子メールの配送システム

(57)【要約】

【目的】 電子メールの配送後も受信メッセージを再び取り出すことの出来る電子メールの配送システムを提供する。

【構成】 外線端末10及び内線端末20, 30に接続された構内交換機40と、この構内交換機40に接続され外線端末10から受信される宛先別メッセージを受信し、メッセージの宛先別に設けられたメールボックス内に受信メッセージを蓄積して格納すると共に、メッセージの宛先に対応する内線端末20, 30に配送する電子メールシステム60と、構内交換機40と電子メールシステム60とのインタフェース制御を司るアプリケーション装置50とから構成される。そして電子メールシステム60は受信メッセージを内線端末20, 30に配送後もそのメールボックス内に保存するための保存手段を有している。従って何度でも受信メッセージを取り出すことが出来る。



10 外線 FAX 端末

20 運用者 FAX 端末

30 利用者 FAX 端末

40 構内交換機

50 アプリケーションインタフェース装置

60 電子メールシステム

70a, 70b, 70c, 70d 加入者接続線

71a, 71b データチャネル

【特許請求の範囲】

【請求項1】 外線端末及び内線端末に接続された構内交換機と、この構内交換機に接続され、前記外線端末から送信される宛先別メッセージを受信し、メッセージの宛先別に設けられたメールボックス内に受信メッセージを蓄積して格納すると共に、メッセージの宛先に対応する前記内線端末に配送する電子メールシステムと、前記構内交換機と前記電子メールシステムとのインタフェース制御を司るアプリケーションインタフェース装置とから成る電子メールの配送システムにおいて、前記受信メッセージを前記内線端末に配送後も前記受信メッセージを前記メールボックス内に保存する手段を設けた事の特徴とする電子メールの配送システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、電子メールの配送システムに係り、特に電子メールシステムが代行受信したデータの指定通信端末への配送を行う電子メールの配送システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 電子メールを構内交換機を介して受信し、これを構内交換機に接続された内線端末に配送するシステムは電子メールの配送システムとして広く知られている。従来の電子メールの配送システムではシステム内の電子メールシステムが代行受信したデータは指定通信端末に配送された後は即時に消去されてしまうように構成されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、このような配送システムでは受信データは一旦指定通信端末へ配送された後はシステム内に保存されていないため、後でもう一度取り出すことができないという問題点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は上述した問題点を解消するためになされたもので外線端末及び内線端末に接続された構内交換機と、この構内交換機に接続され、前記外線端末から送信される宛先別メッセージを受信し、メッセージの宛先別に設けられたメールボックス内に受信メッセージを蓄積して格納すると共に、メッセージの宛先に対応する前記内線端末に配送する電子メールシステムと、前記構内交換機と前記電子メールシステムとのインタフェース制御を司るアプリケーションインタフェース装置とから成る電子メールの配送システムにおいて、前記受信メッセージを前記内線端末に配送後も前記受信メッセージを前記メールボックス内に保存する手段を設けたものである。

【0005】

【作用】 本発明では、受信メッセージはメッセージの宛先別にメールボックス内に蓄積されて格納される。その後メッセージの宛先に対応する内線端末に当該メッセー

ジが配送される。対応する内線端末がビジー状態の時には受信メッセージは後程送信することが出来る。また、宛先に対応する内線端末ではなく他の内線端末からもメールボックス内の受信メッセージを取り出すことができる。受信メッセージは内線端末に配送後もメールボックス内に保存されている。したがって、配送後にもう一度受信メッセージを取り出したい時には必要な内線端末から電子メールシステム内の当該メールボックスをアクセスすることにより何度でもメッセージの取り出しが可能となる。

【0006】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。図1は本発明の一実施例に係る電子メールの配送システムを示すシステム構成図である。構内交換機40は加入者線70aを介して公衆網に接続された外線ファックス10と接続されている。また、加入者線70b、70cを介して内線端末である運用者ファックス端末20及び利用者ファックス端末30と接続されている。構内交換機40はまた加入者線70dを介して電子メールシステム60と接続されている。構内交換機40と電子メールシステム60との間のインタフェース制御を司るためにアプリケーションインタフェース装置50が設けられ、このインタフェース装置50はデータチャネル71aを介して構内交換機40に接続されると共に、データチャネル71bを介して電子メールシステム60と接続されている。

【0007】 電子メールシステム60は本実施例の場合には外線ファックス端末10から送られてくるファクシミリデータの受信と蓄積及び利用者ファックス端末30への受信メッセージの自動配送を行うファックスメールシステムとして構成されている。アプリケーションインタフェース装置50からデータチャネル71bを通して送られる制御信号によりデータの蓄積が行われる。このようにアプリケーションインタフェース装置50は構内交換機40と電子メールシステム60との間のインタフェースをとるように動作し、データチャネル71a、71bを介して制御信号の送受信を行う。このデータチャネル71a、71bは例えばRS-232C、X.25、LANのインタフェースを用いて構成される。なお図1に示す実施例では、アプリケーションインタフェース装置50が構内交換機40と別のブロックにより構成されているが、構内交換機40にあるオプションスロットに装着し構内交換機40と一体として構成することも可能である。

【0008】 次に外線ファックス端末10から利用者ファックス端末30へ送られるファクシミリメッセージを代行受信し配送する時の手順を説明する。まず外線ファックス端末10は構内交換機40に収容された利用者ファックス端末30にダイヤルイン番号でファックスすると、構内交換機40がアプリケーションインタフェース

10

20

30

40

50

装置50に着信の通知を行う。するとアプリケーションインタフェース装置50は構内交換機40に対して電子メールシステムの呼び出し要求を出す。構内交換機40は電子メールシステム60の応答を検出したのち外線ファックス端末10との接続処理を行う。電子メールシステム60は着信後外線ファックス端末10との通信を開始すると同時にアプリケーションインタフェース装置50に対し宛先の利用者内線番号の通知を要求する。するとアプリケーションインタフェース装置50は電子メールシステム60に対し宛先の利用者内線番号を通知する。

【0009】電子メールシステム60は外線ファックス端末10との通信を終了すると、アプリケーションインタフェース装置50により受信したデータに基づき宛先の利用者メールボックスに受信したファクシミリデータを保存する。このメールボックスは電子メールシステム60内に宛先毎に設けられており、宛先を示す信号がアプリケーションインタフェース装置50から与えられると、その宛先毎に受信ファクシミリデータを格納する。更に電子メールシステム60は宛先の利用者ファックス

端末30に発呼し配送処理を行う。

【0010】利用者ファックス端末30がビジーであれば後にリトライし配送が完了すると処理が完了する。後に利用者はもう一度利用者ファックス端末30へ受信ファクシミリデータを出力することもでき、また運用者が代わりに運用者ファックス端末20へ出力することもできる。このように後程受信ファクシミリデータを電子メールシステム60から取り出すことができるのは、受信されたファクシミリデータが配送後も送出されないで保存されるようにしているためである。受信ファクシミリ

*データはメールボックスから配送された後もこれを保存するようプロテクトしておき、保存の必要がなくなった時に運用者ファックス端末20或いは利用者ファックス端末30からの操作によりこのプロテクトを解除して受信ファクシミリデータを送出させるようにすることができる。

【0011】なお、上述した実施例では利用者ファックス端末20の電話番号をダイヤルイン方式として説明したが、これに限定されるものではなく例えば簡易DID方式などであっても適用可能である。また電子メールシステムとしてはファクシミリデータ以外にテキストメールデータあるいは音声メールデータであっても適用可能である。

【0012】

【発明の効果】以上、実施例に基づいて詳細に説明したように本発明では電子メールシステムが受信したデータにプロテクトをかけて電子メールボックス内に保存し、指定通信端末に配送した後でもプロテクトが解除されない限り至急にこれを再取り出し出来るようにしたため満足のいく配送サービスを提供できるという利点がある。

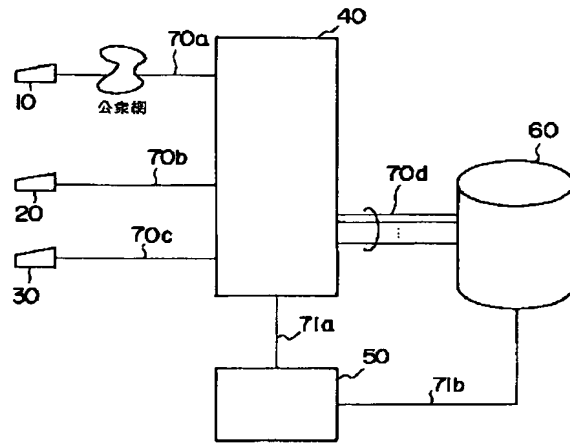
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る電子メールの配送システムを示すシステム構成図。

【符号の説明】

- 10 外線ファックス端末
- 20 運用者ファックス端末
- 30 利用者ファックス端末
- 40 構内交換機
- 50 アプリケーションインタフェース装置
- 60 電子メールシステム

【図1】



- | | |
|-------------|---------------------------|
| 10 外線FAX端末 | 50 アプリケーションインタフェース装置 |
| 20 運用者FAX端末 | 60 電子メールシステム |
| 30 利用者FAX端末 | 70a, 70b, 70c, 70d 加入者接続線 |
| 40 構内交換機 | 71a, 71b データチャネル |

フロントページの続き

(51)Int. Cl.⁵
H 0 4 Q 3/58

識別記号 庁内整理番号
1 0 1 8843-5K

F I

技術表示箇所